

民主島根

2024年
1.7
第1440号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

次の100年を強く大きく 日本の“夜明け”ひらこう

大平よしのぶ 元衆議院議員を必ず国会へ

自民党主要5派閥の「一億総活躍」・「経済政策」・「デジタル政策」・「環境政策」・「安全保障政策」の底知れない「腐敗政治」、国民の暮らしの苦しみをこらした「経済無策」、異常な「アメリカいいなり」は、自民党が日本の政治の舵取りをする資格もなければ能力もないことを示しました。

いま問われているのは自民党政治をこのまま続けていいのかどうかにあります。「腐敗政治」「経済無策」「アメリカいいなり」を転換し国民が希望を持って暮らせる新しい日本をつくりましょう。最大の力は総選挙での日本共産党の躍進です。大平よしのぶ元衆議院議員を国会へ押し上げ、日本の夜明けをひらく年にしようではありませんか。

勝利つかみとる年に

元衆議院議員

大平よしのぶ



前回衆議院選挙から2年。

いまや自民党への期待の声はまったく聞かれなくなりまし。年末の広島市民青同盟がとりくんだ食料支援に何うと、学生たちから当たり前のように岸田政権への批判、高学費や経済無策に対する不満が語られ、「ともに学び行動しよう」との呼びかけにこたえて、次々と民青に加盟する姿を目



「世界灯台100選」にも選ばれている美保関灯台（松江市）

謹賀新年

みんなの力で新しい政治を！

衆議院議員 大平よしのぶ

の当たりにしました。下関市の商店街でブティックを営む店主は、岸田政権への苦言を呈し、消費税減税を呼びかけながら10%値引きセール

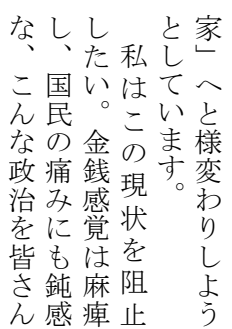


昨年6月に決意して以降、私は、初めての国政選挙予定候補者という環境を生きてきました。この間わずか半年余りでしたが、街頭で訴えるべき問題が次々と生じる国内

むらほえりこ

衆議院議員 大平よしのぶ

を打った広告を地元紙に折り込みました。比例中国ブロック選出の杉田水脈議員の度重なる人権侵害に全国から怒りの声が上がっています。中国地方の日本共産党は昨年統一地方選で、県議選3議席増など今後



外の情勢の激動。また、日を追う毎に国民感情と乖離する岸田暴走政治の様相を見るにつけ、「政治」とはなんぞや、「政治家」とはなんぞや、という想いでいっぱいになってきました。日本が二つの大戦での多大なる犠牲と引き換えに得た、教訓とも言える「日本国憲法」。そこに謳われた国民主権、平和

この力をもっと大きく

参議院議員



10月20日から2ヶ月。臨時国会は「岸田政権の崩壊」で会期末を迎えました。岸田総理は記者会見で「国民の疑念を招いた」と声を詰まらせました。政治資金パーティによる裏金づくりへ

仁比聡平

の批判、怒りや失望を、「疑念」のひとつで済ませる感覚そのものが的外れです。特定企業や業界団体から巨額資金を出させてうまい汁を吸い、表に出せない金権利権で政治を歪める。それは長年にわたって自民党政治家たちが既に「してかしてきたこと」です。物価高騰で苦しむ国民

は極限に達しています。民主主義を犯したことの悔いがいささかでもあるなら、彼らにできることは洗いざらいそのすべてを白状し退場することしかありません。その舞台は国会です。証人喚問で真相を徹底究明すること抜きに、国民負担増や大軍拡の来年度予算編成などあり得ません。

「しんぶん赤旗」のスクープから一年。日本共産党の奮闘は政治を土台から揺さぶっています。この力をもっと大きく。

鼓動

正月の風物詩となった箱根駅伝。東京・大手町の読売新聞社前から神奈川県箱根町の芦ノ湖まで往復

10区間217.1キロをたすきでつなぐ大会は2024年、100回目を迎える▼100回記念大会では「特別ルール」が採用され、従来の20校+関東学生連合チームから、出場校が23校に増枠された。これに伴い、予選会も大きく変更され、参加資格が日本学生陸上競技連合になり、箱根駅伝の門戸が全国の大学に広げられた▼予選会では、関東の46大学に加えて近畿や東海などから11校が参加。57校で13の枠を争ったが、13位まではすべて関東学生連合の大学。もし、今後も全国の大学に門戸が開放され続けられ、高校の有力選手の進学先も広がり、大学駅伝の勢力図は大きく変わるかもしれない▼箱根駅伝の醍醐味の一つが、往路復路ともに5時間を超える中継が生放送であること。実況担当のアナウンサーは資料を読み込み、さらに深く知りたいことは自身で追加取材も行う。手間暇かけて集められたデータだからこそ実況にも熱がこもる。07年の83回大会で生まれた「山の神」、ここに降臨」という名フレーズは今も脳裏に深く刻まれている▼15年の91回大会から実況を務める日本テレビの平川健太郎アナウンサーは「テレビが箱根駅伝を変えてはいけな」ということ。基本的には学生のスポーツで運営も含めて学生たちが一生懸命にやっている。そこは変わらぬに大事にやっていきたい」と語る。100回大会も山の神に迫るような選手の快走は生まれるだろうか。(遠)